

ほかにも

いきいき協働事業で地域と協働して食物資源(生ごみ)を資源循環させるモデル事業を始めます

市では、NPO法人小平・環境の会と協働して、食物資源(生ごみ)を地域で活用し循環させるモデル事業「生ごみ堆肥で作った野菜を食べよう(地産地消・資源循環モデル事業)」を実施します。

これは、ごみ減量や資源循環を進め、また野菜の地産地消、農家と消費者の交流、農のあるまちづくりを進めるモデル事業です。

市内25世帯程度の家庭から出る食物資源(生ごみ)を、NPO法人小平・

環境の会がたい肥場に運び、協力農家が年2回のたい肥づくりの原料として利用します。このたい肥で作った野菜を、事業に協力した世帯が買い取り、家庭の食卓に上るといふものです。

※いきいき協働事業は、市民活動団体等からの提案を受け、市と協働して行う事業です。

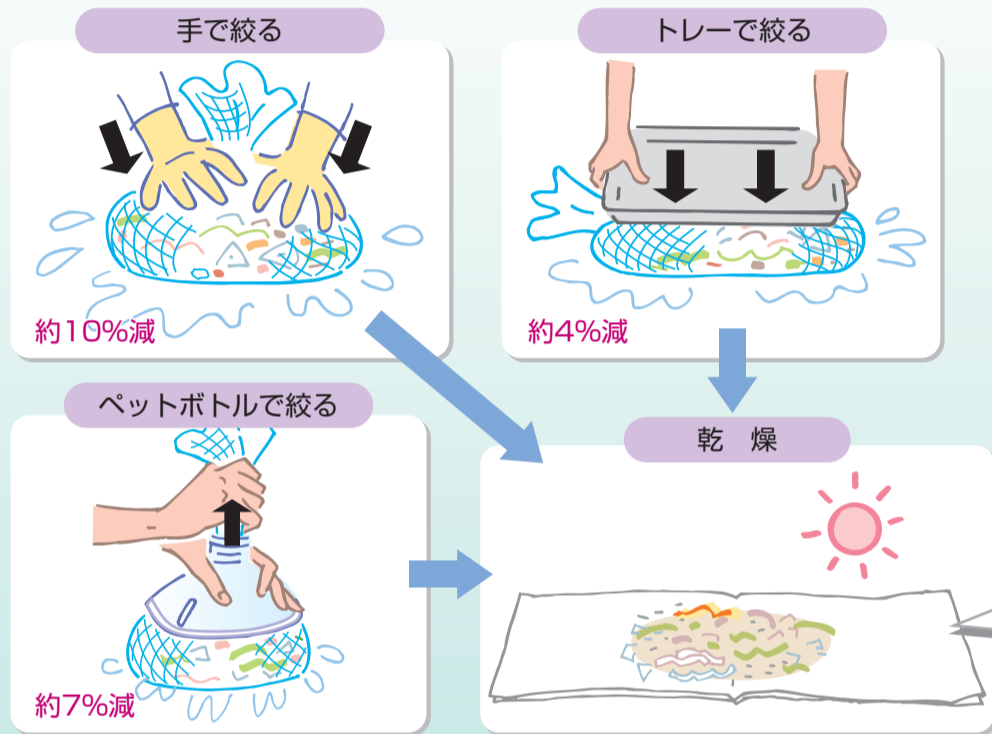
問合せ NPO法人小平・環境の会 ☎042 (341) 8681

クリーンメイトによる生ごみ水切り実験を行いました

平成21年度に、クリーンメイトの皆さんに生ごみの水切りによるごみの減量実験にご協力いただきました。水切りネットに入れた生ごみを右図の方法で実験しました。

いずれの方法でも減量効果がありますが、クリーンメイトからは「手は汚れるけれど、手で絞って水を切るのが一番簡単な水切りの方法だ」という感想をいただきました。また、絞った生ごみを乾燥させた方もいましたが、かなりの減量効果が期待できます。

※クリーンメイトとは、ごみ減量とリサイクル推進について、地域でボランティアとして指導的な役割を担う方です。



水切りネットを使った生ごみは水切りしながら絞るとお尻がきれいになります。

絞った生ごみを乾燥させた場合、絞る前より20%以上減量できました。

生ごみ減量化処理機器購入費の一部を補助

補助内容

- 1日の処理能力5キログラム未満
購入金額の2分の1、上限30,000円(1設置者2基まで)
- 1日の処理能力5キログラム以上
購入金額の2分の1、上限300,000円(1設置者1基のみ)

※100円未満の端数は切り上げ。

申請者 市民および市内に事業所を有し、生ごみ減量化処理機器を購入し、市内に設置する方

※詳しくは、購入前にお問い合わせください。



「ごみと資源の出し方」と「分別をよりわかりやすく」を配布しています

「ごみと資源の出し方」は、ごみと資源に関する写真付き分別パンフレットです。

「分別をよりわかりやすく」は、ごみと資源が50音順に並んでいて簡単に分別の確認ができ、ごみの辞典としてご利用いただけるものです。また、注意点なども掲載していますので、ぜひ、ご活用ください。

配布場所 ごみ減量対策課(市役所4階)、東部・西部出張所、図書館、公民館、地域センター



資源集団回収団体に補助金がでます

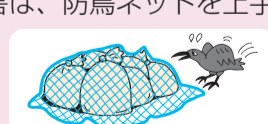
市内の自治会や子ども会などがグループで資源を回収する場合、回収量に応じて補助金を交付します(登録が必要です)。平成20年度は108団体が活動し、約2,243トンの資源物が回収されました。また、補助金として約1,758万円(平均すると1団体当たり約16万円)が交付され、活動資金などに使われています。皆さんの地域でも資源回収を行って、地域でのリサイクル活動を進めましょう。

※詳しくは、お問い合わせください。



防鳥ネットの貸し出しをしています

からすや猫などによるごみの散乱被害は、防鳥ネットを上手にご利用いただくと効果があります。防鳥ネットは、全体を包み込むようにしっかりとかぶせてください。



貸出窓口 ごみ減量対策課、東部・西部出張所

問合せ

ごみ減量対策課

☎042 (346) 9535

✉gomi-genryo@city.kodaira.lg.jp